

# バリアフリーマップ作成ツール

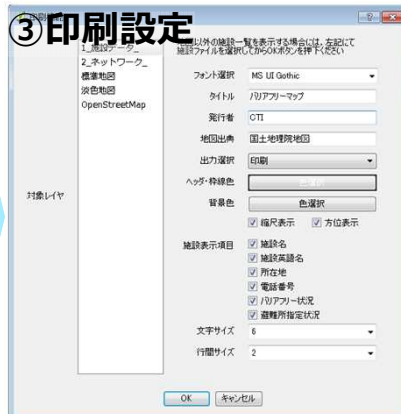
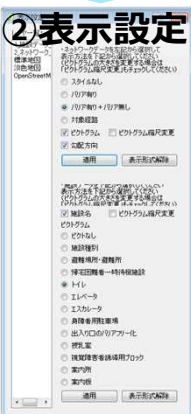
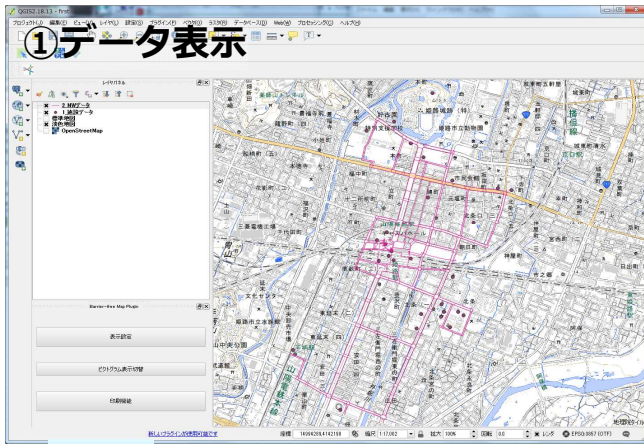
国土交通省では、ユニバーサル社会の構築に向けて、例えば、車いすの方が通行できるバリアフリールートをスマートフォンを通じてナビゲーションする等、ICTを活用した歩行者移動支援サービスの普及展開を目指し、バリアフリー・ナビプロジェクトを推進しています。

このようなサービスを実現するためには、歩行空間の段差や勾配等のデータ（歩行空間ネットワークデータ）や建物のトイレやエレベーター等に関するデータ（施設データ）をはじめ、バリアフリーに関する情報をデータ化する必要があります。

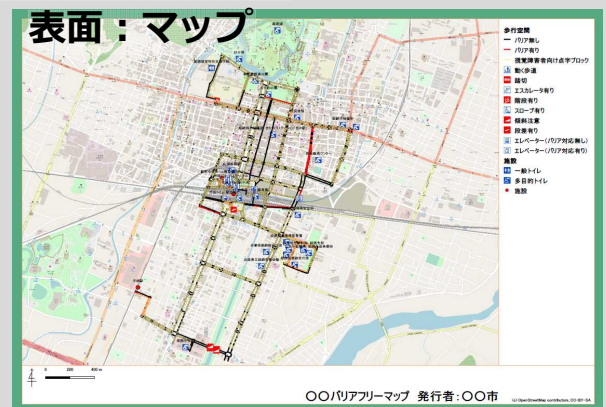
そこで、歩行空間ネットワークデータや施設データの整備や活用の促進に向けて、これらデータをバリアフリーマップとして可視化することができるツールを作成しました。

## ツールの概要

- ◆ 「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様案」に基づき作成した歩行空間ネットワークデータや施設データに含まれるバリアフリーに関する情報を地図上に可視化するツールです。
- ◆ データの表示設定に基づき、バリアフリーマップとして配布可能な形式に出力できます。



## ④ 出力 (可視化)



## ツールの特徴

### ◆ 簡単な操作

データの読みこみ、表示設定、マップ作成をボタン操作だけで行うことができます

### ◆ データを可視化

データに含まれるバリアフリーに関する情報を地図上に重ねて表示することにより、データを可視化することができます

### ◆ 地図としての利用を可能とする

ツール上でデータを確認するだけでなく、バリアフリーマップとして出力し、庁内外で配布することができます。

## ツールの活用イメージ

ツールでは以下について実施することができます

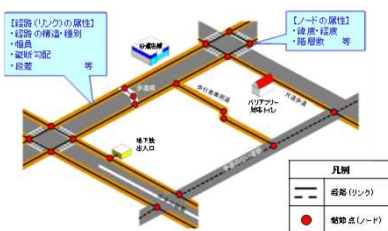
- ◆ 「歩行空間ネットワークデータ整備等仕様案」（2018.3 国土交通省）に準拠した歩行空間ネットワークデータ、施設データの読み込み
- ◆ 読み込んだデータを地図上に可視化したバリアフリーマップの作成

### データの読み込み

### マップ作成

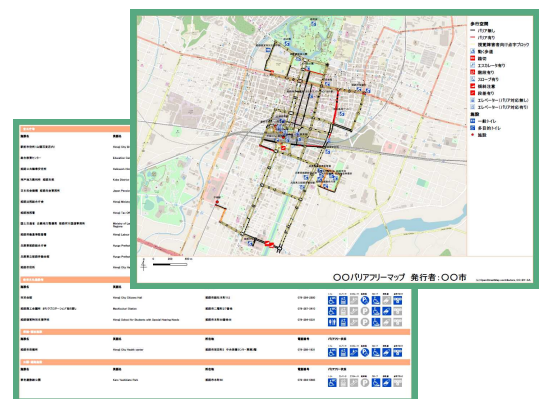
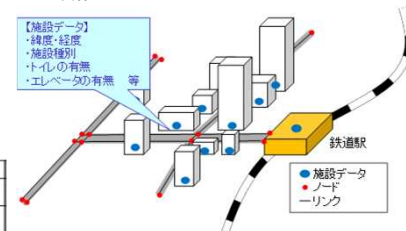
#### 歩行空間ネットワークデータ

歩行空間の段差や勾配等のバリアに関するデータ



#### 施設データ

建物のトイレやエレベーター等の設備に関するデータ



## 提供方法・推奨動作環境

ツールの利用に当たっては、利用許諾書に同意し、国土交通省へ利用申請書を提出してください。また、利用申請を行う前に必ず利用許諾書をお読みください。ツールのプログラムファイルやインストール手順書等をCD-RもしくはDVDにより提供します。

#### 動作環境

OS： Windows7以降（2018.3時点）  
HDD： 空き容量2GB以上推奨  
メモリ： 4GB以上推奨  
その他： インターネット接続可能な環境が望ましい

※ 本ツールはフリーのGISソフトであるQGISのプラグインとして機能追加して利用します。